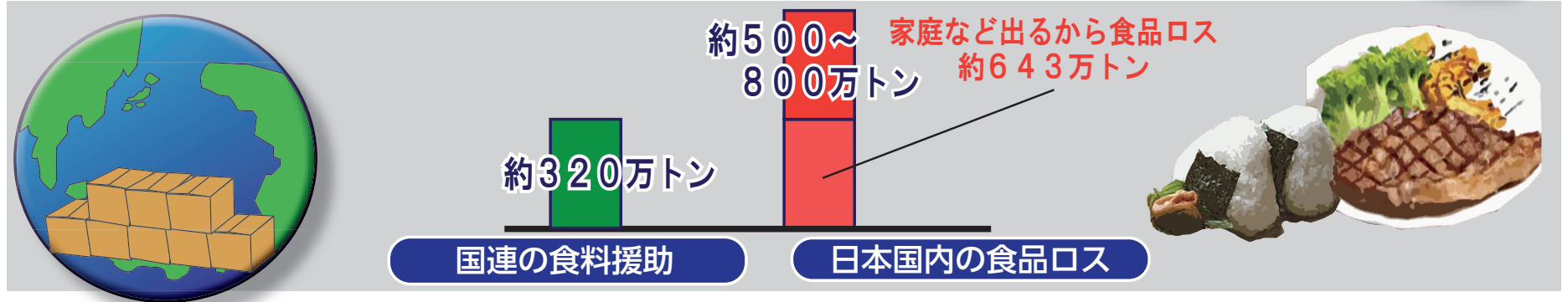
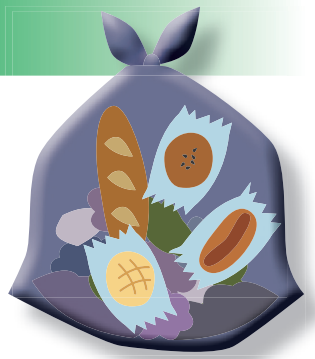




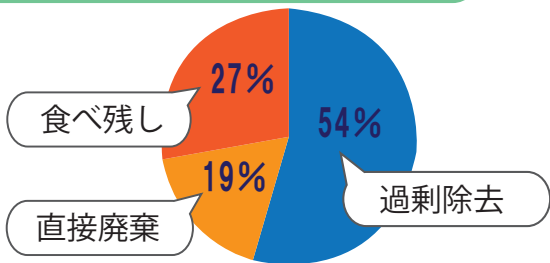
# 日本の食品ロス

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物、いわゆる「食品ロス(=フードロス)」は、日本では年間 643 万トンもあり、世界全体の食糧援助量(年間約 320 万トン)の約 2 倍にもなります。(農林水産省 平成 28 年度調べ)。また、日本人 1 人当たりの食品ロス量は 1 年で約 51kg あります。これは、毎日お茶わん1杯分のご飯を捨てていることになります。



## 家庭から出る食品ロス発生要因

農林水産省「食品ロス統計調査・世帯調査(平成 26 年度版)」を基に消費者庁にて作成



買すぎない

適切に保存する

食材を上手に使いきる

食べきれぬ量を作る



## 食品ロス問題を含めた環境学習講座の取り組み



ごみ減量推進課では、市内保育園・小学校、エコプラザ西東京のイベントなどで、児童向け出前講座を開催しています。親しみやすいキャラクターに写真、イラスト、動画、音楽を使って制作された簡易アニメーションを上映して、食べ残しの防止や食べられることへの感謝の気持ちなどを楽しく学べる機会となるように実施しています。



## 障害者就労支援とごみ減量・資源化

小型家電の分解・分類作業での経験によって様々な能力の育成が図られています。

小型家電として収集されるビデオデッキには電子基板や有用な金属が多く含まれています。より良い有用金属の再資源化と障害者の方の就労・自立支援を推進するため、福祉施設・就労移行支援事業所等で分解・分類作業を行っています。



総分解台数累計 21,357台  
2015年4月1日~2020年2月13日  
平成30年度就労支援事業実績  
総分解処理台数 4,200台  
年間総作業従事者 36名  
就労支援就職者 4名



### ざつがみばつぐ 製作・提供

平成30年度製作・提供枚数  
7,120枚  
累計総製作・提供枚数  
18,941枚

